

2026 年度 大学院理工学研究科 登録要領

I. 科目登録の要領

『大学院履修要項』や『シラバス』、『登録要領』を熟読のうえ、誤りのないように登録すること。

●登録日程

1. 先行登録

- ・分散システム特論[情報工学専攻]
- ・組込みシステム特論[情報工学専攻]（秋学期の講義開始前に先行登録を行う。）

2. DO Week（オンデマンド授業期間）

4月4日（土）～10日（金）

※詳しくは大学 HP を参照すること。

https://www.doshisha.ac.jp/students/new_calender/index.html



3. 一般登録

「学修支援システムDUET」から登録すること。

4月7日（火）10:00～4月9日（木）17:00

※科学技術英語特論Ⅰ・Ⅱ①～④[電気電子工学専攻]は、あらかじめ指定されたクラスを登録すること。（指定クラスは、掲示等で発表する。）

※科学技術英語特論①～④[応用化学専攻]は、あらかじめ指定されたクラスを登録すること。

（指定クラスは、掲示等で発表する。）

科学英語表現法特論①～④[応用化学専攻]は、秋学期の講義開始前にクラスが発表されるので、春学期には一般登録できない。

※応用化学専攻には、次年度開講されない隔年開講の科目があるので履修の際は注意すること。

該当科目に関しては、大学院履修要項を参照すること。

※専攻共通特殊講義にある『安全安心実習』とビジネス研究科科目（イノベーションマネジメント）は履修中止できないので、登録する際に注意すること。

4. 春学期面接授業開始日

4月11日（土）

5. 登録科目確認表の配付

「学修支援システムDUET」よりダウンロードし、各自の登録をよく確認すること。

期間：4月15日（水）～17日（金）

●エラー修正

この期間は登録エラーの修正のみが可能である。登録の変更・追加はできないので、ミスのないよう細心の注意を払って登録すること。なお、秋学期の講義開始前には登録変更することができる。

1. エラー修正受付

登録科目確認表を確認し、登録エラーがある場合は各自で責任を持って修正すること。

4月15日（水）～17日（金）17:00

DUET メッセージで受付方法等を連絡するので、その内容に沿って手続きを行うこと。

4月17日（金）17:00までにエラー修正の申し出を行うこと。

2. 履修科目確認

4月22日（水）～23日（木）「学修支援システムDUET」にて各自確認

※万一、登録エラーを修正せずに放置しておいた場合は、エラーに関係する科目を強制的に削除するので注意すること。

●履修中止

- ・授業を受講し、望ましい評価を得られないと判断した科目については、定められた科目を除き、履修の中止を認める(登録の変更、追加は認めない)。
- ・詳細は理工学研究科掲示板および DUET メッセージを参照すること。

●その他の注意

- ・二重登録の禁止：同一授業時間に重複して登録することはできない。
- ・履修済科目の登録禁止：過年度に合格した科目を再度登録することはできない。(電気系、機械系の学部共通設置科目も含む。)

●学部、免許・資格関係、留学生科目を登録する場合

1. 学部科目を登録する場合、『学部履修要項』や『シラバス』、『学部登録要領』を熟読する必要がある。理工学部・理工学研究科事務室(教務係)まで申し出ること。また、免許・資格関係の履修については、『免許・資格関係履修要項』を参照すること。
2. 先行登録科目もあるので、『学部履修要項』の他、『学部登録要領』の「登録関係日程表」、理工学部掲示板的の掲示をよく確認すること。ただし、学部科目は学部生の登録が優先されるため、登録できない場合がある。
3. 教職課程、博物館学芸員課程、図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程の科目を履修する場合は、科目登録とともに、教務課免許資格係で課程登録等の手続きを完了すること。
4. 留学生科目を登録する場合は、『日本語・日本文化教育科目 履修の手引き』を理工学部・理工学研究科事務室(教務係)にて参照の上、登録すること(留学生のみ登録可)。

●協定校単位互換科目を履修する場合

- 4月9日(木)17:00までに受講の申請をする必要がある。
詳しくは次頁の「協定校単位互換科目について」を参照すること。

II. その他

登録を含めて理工学研究科共通の周知事項は、理化学館1階石版(SCIENCE)向側の大学院掲示板に掲示する。掲示板には常に注意を払っておくこと。なお、DUETでも「事務室からのメッセージ」を通して重要なお知らせを通知している。各自、受信ボックスの「授業担当者からのメッセージ」の下部にある「事務室からのメッセージ」も頻繁に確認すること。

新入生は、「ネットワーク利用資格認定試験」に合格しなければならない。(本学を卒業または修了した大学院生等、過去に本学に在籍していた場合も受験必須です。)ネットワーク利用資格認定試験に合格しなければ、入学時に交付するユーザIDを持っていても、本学ネットワークを利用した電子メール、WWWブラウザによる学外Web参照、オンラインストレージ、VPN接続(学外からの仮想PC接続サービス、DoKoDeMoプリントサービス含む)等の機能が4月末をもって利用不可となるので注意すること。ネットワーク利用資格認定試験についての詳細は、『ネットワーク利用資格認定試験受験案内2026』を参照。

理工学研究科 協定校単位互換科目について

理工学研究科では、1999年1月に京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科と単位互換に関する協定を締結しました。この協定にもとづき、「特別聴講学生」として、京都工芸繊維大学大学院で開講している科目のうち京都工芸繊維大学大学院が提供し、理工学研究科が受講を認めた科目の中から選択して登録履修することができます。

1. 修了に必要な単位への算入

通算10単位の範囲で登録でき、認められた科目（専攻により異なる）であれば、6単位を限度として修了に必要な単位として認定されます。（登録は可能であるが修了に必要な単位としては認めない科目が一部あります）。

2. 受講を認める科目について

協定校から提供された科目の一覧は3月末頃から理工学部・理工学研究科事務室で閲覧できます。これらの科目を受講する場合、同志社大学では「協定校単位互換科目」という科目名で取り扱われます。

専攻ごとに修了に必要な単位に含まれる科目と修了に必要な単位には含まれない科目がありますので、注意してください。

3. 登録方法

1) 「京都工芸繊維大学特別聴講学生聴講願」の提出

4月 9 日(木) 17:00までに理工学部・理工学研究科事務室（教務係）へ提出してください。用紙は事務室で配布します。なお、他の科目よりも登録確定が遅くなるため、**移動時間を含め、他の科目との時間割重複が無い**か十分検討のうえ提出してください。

2) 仮受講

春学期（京都工芸繊維大学では「前学期」という）に開講される科目の場合、授業は京都工芸繊維大学の学年暦にあわせて4月上旬から順次開始されます。選考結果が通知されるまでの約1ヵ月間は、仮受講の形で授業に参加してください。なお、受け入れが決まった場合、この期間も正規の授業時間に含まれ、成績評価等の対象となりますので、注意してください。

3) 選考結果の通知

聴講願にもとづき、京都工芸繊維大学大学院が特別聴講学生としての受け入れを選考・決定します。

選考結果は5月初旬に本人へ通知します。

4) 科目登録

受け入れ決定後に大学が一括して科目登録を行います。なお、受講が許可されなかった場合であっても、科目登録の追加等は春学期には認められません。

4. 特別聴講学生証の発行

受け入れが許可されると、京都工芸繊維大学から特別聴講学生証が発行されます。特別聴講学生証用写真の提出等、詳細については理工学部・理工学研究科事務室（教務係）に確認してください。

5. 試験について

定期試験の時間割が本学の試験時間割と重なった場合は、予め理工学部・理工学研究科事務室（教務係）に相談してください。

6. 掲示について

試験日程、休講、補講等の授業に関する連絡事項については、京都工芸繊維大学の所定のWEB サイトが随時更新されるため、必ず各自で確認してください。

7. その他

2026 年9月に修了を予定している学生は、この科目を登録することができません。

関西四大学大学院単位互換について

「関西四大学大学院学生の単位互換に関する協定書」にもとづき、関西四大学単位互換履修生を募集しますので、希望者は出願してください。なお、申し込みに先がけて、指導教員から、学生が希望する他大学大学院の授業科目担当教員に連絡をとってもらい、予め了解を得てください。また、学生本人からも直接当該授業科目の最初の授業に出席し、念のため担当教員の了解を得てください。

出願書類 関西四大学単位互換履修生願書(理工学部・理工学研究科事務室(教務係)で配付)

締 切 日 4月9日(木)17時まで

※秋学期科目の追加・変更のみ、秋学期履修科目登録変更期間にも手続き可能とする。

提 出 先 理工学部・理工学研究科事務室(教務係) ※データにて提出(Word形式)

なお、各大学(関西大学、関西学院大学、立命館大学)大学院の時間割は理工学部・理工学研究科事務室(教務係)で閲覧できます。ただし、関西大学については、秋学期・後期の学生送り出しは、当面の間、行いません。

GPA制度による成績評価について

各科目の成績評価を以下の判定基準にしたがい、7段階(A⁺, A, B⁺, B, C⁺, C, F)で評価し、各成績評価段階に4.5~0.0の評点(Grade Point)を付与して、1単位あたりの評点平均値=GPA(Grade Point Average)を算出します。

GPAは、不合格を意味するF評価の成績も含めて以下の計算式で算出しますが、F評価であった科目を再履修してC以上の評価を得た場合、最後に付いたF評価のみ新たな評価に書き換えられて算出されます。

判定基準

評価	評点	判定内容
A ⁺	4.5	特に優れた成績を示した
A	4.0	A ⁺ に準じた成績を示した
B ⁺	3.5	優れた成績を示した
B	3.0	B ⁺ に準じた成績を示した
C ⁺	2.5	妥当と認められる成績を示した
C	2.0	C ⁺ に準じた成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

上記段階評価以外の評価は、合格、不合格、認定となります。

算出方法

$$\frac{(\textcircled{A}^+ \times 4.5 + \textcircled{A} \times 4.0 + \textcircled{B}^+ \times 3.5 + \textcircled{B} \times 3.0 + \textcircled{C}^+ \times 2.5 + \textcircled{C} \times 2.0 + \textcircled{F} \times 0.0)}{(\textcircled{A}^+ + \textcircled{A} + \textcircled{B}^+ + \textcircled{B} + \textcircled{C}^+ + \textcircled{C} + \textcircled{F})}$$

($\textcircled{A}^+ \sim \textcircled{F}$)はA⁺~Fの評価が付いた科目の単位数の合計)